

鈴鹿市のUIJターン施策について

鈴鹿市

令和7年12月23日



第1回会議におけるUIJターンに関する意見（要約）

- これからの地方には、若者の地元への愛着やほこりが必要である。若者が地元から出てしまう前に、地元の課題に触れたり、地元の人たちがどういう思いで働いているかを知ることが、将来的にUターンや、地元に戻らなくても外から支援するきっかけになる。
- 若者が地元を離れる前に、どれだけ地元との関係ができているか、どれだけ色々な世代と接点を持っていたかということがUターンにつながる。
- こどもの年齢や家族の状態などといった自分の状況に合わせた働き方に対応できる地域は、人が暮らしやすい地域になる。
- Iターンはその地域を知ってもらい、関係が生まれ、地域の人とつながっていくことで人が動いていく、という流れを辿る。このことを踏まえて、鈴鹿市にとっての関係人口をどのように考えていくかという検討が必要。

Uターン施策に関するご意見を踏まえて

Uターン施策を考える上では、転出するまでの間に、どれだけ地元への愛着やほこりを持てるような施策を行うかが重要。

学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」では、地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現することがポイントの1つに挙げられており、基礎自治体においても、小・中学校の教育課程で、地域とつながり、地元への愛着やほこりを持てる授業等が行われている。

そのため、学校授業外でどのような事業を実施しているか、年代で分けて調査した。

➡ 小・中学生年代と高校生・大学生年代の市民(元市民)に対して実施している事業を整理

小・中学生年代の市民を対象とした主な事業

知識提供や体験、市政参画など多岐にわたる事業を展開し、地域の魅力を伝える機会を提供している。

出前授業

小・中学生を対象に、鈴鹿市に関わる様々な団体・人による出前授業を実施

- お茶のおはなし会
- モータースポーツ体感講座
- バスの乗り方教室
- 市内競技団体によるスポーツ体験

参加プログラム

地域の特性を生かしたイベントを実施／実施の支援

- 地産地消ポスター展
- 「F1日本グランプリ」5市1町こども招待
- F1ドライバー交流事業
- 「鈴鹿8耐」地元チームとの交流事業
- スーパーフォーミュラ「チーム交流事業」
- 放課後子ども教室・土曜体験学習
- こども議会
- こどもを対象とした議会報告会

高校生・大学生年代の市民を対象とした主な事業

実践的な場を提供し、地域の仕事や課題の解決に若者が深く関わる機会を創出している。

ワークショップ

高校・大学での出前授業だけでなく、公募形式でも実施

- 鈴鹿大学での出前授業
- 愛知大学とのプロモーション・DXに係る政策研究
- 神戸高校・鈴鹿高校における地域活性化の政策検討
- 議会報告会（若者対象）
- 「#最高に住みやすいまち」について考える若者ワークショップ
- 高専生を対象とした地域課題に関するハッカソン

企業連携

地域の仕事の実態を知る機会の提供

- 企業参加型のグループワーク（市内高校2校・市外高校3校・大学3校・公募した若者）
- インターンシップ（市内高校4校）

協働・企画実行

高校生・大学生年代と市が協働して実施している事業

- 小・中学生に理工系への関心を高めてもらう講座（鈴鹿高専）
- 渋谷deプロモ部交流会
- プロモ部年末交流会
- 鈴鹿市二十歳のつどい（有志の実行委員）

Iターン施策に関するご意見を踏まえて

Iターン施策を考える上では、市民以外とどのように接点を作り、どのような関係を築くかを整理することが重要。その上で状況に合わせた生き方（働き方）に対応できるよう、なるべく多様な選択肢を確保することを検討していく。

●市民以外との関係性は・・・

市を知ってもらう（シティプロモーション）



市に遊びにきてもらう（観光誘客）／市の産品を購入してもらう（市外消費）



市のことをさらに知り、移住の候補地になる（もう1つのふるさとになる）



移住・定住につながる

以上のような段階を踏むことが多いことから、市民以外との関係性について、目的別に以下のように事業を整理した。

◆ シティプロモーション

◆ 観光誘客

◆ 市外消費（域外消費）

◆ 移住・定住

シティプロモーションに係る主な事業

これまでも機会を創出し実施してきたが、今年度の東京事務所の新規設置により、取組が増加している。

事業名	事業概要
鈴鹿市のプロモーション用動画／ポスター作成	本市の魅力を多角的に発信するためのコンテンツを制作
大阪・関西万博へのブース出展	お茶をテーマにした他市との共同出展及び伝統産業やふるさと納税等を紹介する展示を実施
SUZUKA@TOKYOプロジェクト若者交流会	首都圏における人的ネットワークの形成に向け、本市にゆかりのある40歳代までの社会人等との交流会を開催
SUZUKA@TOKYO交流会	プロジェクトのキックオフイベントとして交流会を開催し、個人、団体、民間事業者等との関係構築の機会を戦略的に創出
渋谷deプロモ部交流会	すずかプロモーション部の第1弾イベントとして、今後のプロモーションに活用するロゴづくり等を実施
プロモ部年末交流会	すずかプロモーション部の若者同士や賛同企業の社員との交流会として、まちづくりに関するトークセッション等を実施

観光誘客に係る主な事業

モータースポーツというコンテンツを核としつつ、そのほかにも多様な事業が展開されている。

事業名	事業概要
スーパーフォーミュラキャラバン in ジャズドリーム長島	国内最高峰のフォーミュラレースで活躍する選手や関係者が多数集まり、開催地のPR等を行うイベントで観光情報や物産のPRを実施
トーク&フォトセッション“世界のヨシムラと鈴鹿耐久”	国内屈指の2輪チューナーである「ヨシムラ」と「モリワキ」に焦点を当て、ファン交流を通じ、「モータースポーツのまち・鈴鹿」を発信する事業
SUZUKA eMOTORSPORTS EXPERIENCE 2024-2025	国内レースで活躍するドライバーのトークショーやeモータースポーツ体験などにより、「モータースポーツ」を身近に感じられるイベントを開催
SUZUKA MOTORSPORTS LAB 2025	モータースポーツ普及啓発団体と連携し、様々な世代へ学びの場を提供する事業であり、「国民スポーツ大会」のeモータースポーツ三重県代表決定戦も併催
鈴鹿シティマラソン	鈴鹿サーキットにおいて市内外のランナーが集い行われるマラソンの大会
鈴鹿フラワーパークフェスタ	市内フラワーパークで実施され、地域住民の交流機会を創出し、コミュニティの構築を図る事業

市外消費（域外消費）に係る主な事業

関係市との連携や企業との協定を活用し、戦略的な域外プロモーションと販路拡大を図っている。

事業名	事業概要
文房四宝まつり	国の伝統的工芸品である鈴鹿墨について、硯（石巻市）、紙（鳥取市）、筆（広島県熊野町）の文房四宝関連4自治体が一堂に介してPRを実施
鈴鹿墨書道わあるどかつぶ	書道人口の増加と鈴鹿墨のPRを図るため、全国から書道作品を募集し、東京の鈴鹿墨展をはじめとする展覧会を実施
すずか市@なんばグランド花月	事業者と包括連携協定を結び、市内事業者の販路拡大や販売機会の促進を目的に物産展を開催
～三重・北の恵～ええやん!大集合やん!北伊勢フェア	北伊勢広域観光推進協議会（県北部の5市5町で構成）で、観光PRや物販販売を実施し、広域観光の推進に向けた取組を展開
鈴鹿市植木まつり	植木や花の即売会を開催するほか、寄せ植え体験教室などを実施
鈴鹿のかぶせ茶のふるまい	鈴鹿PAにおいて、本市の特産物である「かぶせ茶」を味わってもらうため、その場で淹れたお茶のふるまいを実施
食とみどりのすずかフェア	市内ショッピングセンターと連携し、鈴鹿のお茶を使ったスイーツや特産品等の販売、体験教室を実施

移住・定住に係る主な事業

東京での積極的なアプローチを含め、「仕事」と「住まい」の両面から支援し、移住・定住を促進している。

事業名	事業概要
「鈴鹿deはたらこっ!就職フェア in TOKYO」	UIJターン就職促進のため、関東圏の学生や転職希望者等を対象とした合同企業説明会を東京で開催
移住フェアへの参加	東京、大阪、名古屋などの大都市で行われる県主催の移住フェアに、本市のブースを設置
移住支援金制度	東京圏からの転入者が、転出地、居住年数、勤務先等、一定の条件を満たす場合に支援金を支給
空き家リノベーション等補助制度	市外からの転入者が空き家を購入し、改修する場合に、一定の条件を満たせば、その改修費用の一部を補助
優良田園住宅制度	市街化調整区域内で一定の条件を満たせば住宅を建築することができる制度
空き家バンク制度	空き家の売買・賃貸の情報を市ウェブサイトで公開し、空き家の利活用を希望する方々への情報提供を実施